

『北海道クルーズ・旅客船メールマガ』は、クルーズ振興が海事振興にとどまらず、地域振興、観光振興にも寄与することから、クルーズ情報に限らず、フェリー・旅客船に関する情報や一般海事情報、地域観光情報等も含め、幅広くご提供したいと考えております。

<目次>

1. 全 道：ダイヤモンド・プリンセスが北海道を応援！
～復興支援の横断幕をかかげて道内各港へ入港～
2. 情 報：別世界へいざなわれる
「クルーズ」という楽しみに出会えました
～「にっぽん丸」クルーズモニターの感想をご紹介～
3. 室 蘭：今年は虹高生17名がチャレンジ！！
～遊覧船ガイド育成プロジェクトは4年目を迎えました～
4. 情 報：第11回「クルーズ・オブ・ザ・イヤー」実施中！
5. 情 報：「クルーズなんでも屋」vol.43！
～クルーズ用語について復習しましょう～
6. 事務局からのお知らせ

1. 全 道：ダイヤモンド・プリンセスが北海道を応援！
～復興支援の横断幕をかかげて道内各港へ入港～

プリンセス・クルーズ(米国)が運航する「ダイヤモンド・プリンセス(11万5,875トﾝ)」が、先月発生した北海道胆振東部地震で被災した北海道を応援するため、復興支援の横断幕を掲げて函館、釧路、小樽の各港に入港いたしました。

横断幕は高さ約1.5m、幅約20mで、「北海道の復興を応援しています We are With you Hokkaido」というメッセージが記載されており、余白部分は日本や欧米からの乗船客、乗組員らによる激励の手書きメッセージで埋めつくされていました。

横断幕は今年の最終寄港地となった函館市に贈呈され、11月2日まで函館市役所本庁舎の2階吹き抜け部分に展示されており、今後についてはBAYはこだて内のギャラリーや渡島総合振興局、北海道本庁舎での展示をめざしているとのこと。

道内各港に毎年寄港しており、道民にも親しまれている「ダイヤモンド・プリンセス」からの心温まる応援メッセージが、より多くの人目に触れ、道民への励ましや復興のPRにつながっていくことを期待します。

各港の寄港の様子は北海道クルーズ振興協議会のホームページでご紹介しておりますので、そちらをご覧ください。

北海道クルーズ振興協議会ホームページ(協議会ニュースのページ)
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunjabetsu/kaiun/cruise/cruise21/news/20181031-1news.pdf>

<問い合わせ先>

北海道クルーズ振興協議会 事務局
北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部
mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp

2. 情報：別世界へいざなわれる
「クルーズ」という楽しみに出会えました
～「にっぽん丸」クルーズモニターの感想をご紹介～

今年も、商船三井客船（株）様のご協力のもと、にっぽん丸の「飛んでクルーズ北海道」にご乗船いただくクルーズモニターを実施し、お二人にとって初めてのクルーズ旅行を体験していただきました。

クルーズ旅行を存分にご堪能いただけたようで、「極上のサービスが受けられ日常とかけ離れた別世界へいざなってくれる『クルーズ』という楽しみと今回出会う事が出来た」との感想をいただいております。

その楽しさや魅力が伝わる感想と写真は、以下のURLにてご紹介していますので、是非ご覧ください。

北海道クルーズ振興協議会ホームページ（協議会ニュースのページ）
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise21/news/20181017.pdf>

にっぽん丸の「飛んでクルーズ～」は、来年4月には那覇発着の「飛んでクルーズ沖縄」4コースが予定されています。

Aコースは「西表島・宮古島」、Bコースは「南大東島・久米島」、Cコースは「石垣島・台湾」、Dコースは「伊江島・与那国島」を3泊4日でめぐるクルーズです。

にっぽん丸に乗船して、最西端の与那国島、絶海の孤島・南大東島、ゆりの花咲く伊江島など美しい海と麗しの島々を結ぶ船旅へ出かけてみてはいかがでしょうか

「飛んでクルーズ沖縄」の詳細については「にっぽん丸オフィシャルサイト」をご覧ください。

にっぽん丸オフィシャルサイト
<http://www.nipponmaru.jp/>

<問い合わせ先>
北海道クルーズ振興協議会 事務局
北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部
mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp

3. 室 蘭：今年は虹高生17名がチャレンジ！！
～遊覧船ガイド育成プロジェクトは4年目を迎えました～

北海道運輸局室蘭運輸支局では、今年も北海道虻田高等学校（以下：虹高生）3年生17名と連携して「遊覧船ガイド育成プロジェクト」を実施しました。

遊覧船ガイド育成プロジェクトは、洞爺湖で遊覧船を運航している洞爺湖汽船（株）にご協力いただきながら、地元高校生が洞爺湖の遊覧船でガイドをしていることを知ってもらい、洞爺湖を訪れる日本人観光客、特に修学旅行生に遊覧船に乗船してもらうことで遊覧船利用者の増加につなげていくとともに、ガイドを経験した虹高生や修学旅行で訪れた高校生に洞爺湖エリアの魅力を感じてもらい、将来的に地域の観光、産業分野への就職へのきっかけにつなげることを目的に平成27年度にスタート、今年で4年目となります。

遊覧船ガイドの実施に向けては、さまざまな学習を通じてガイドに必

要な知識を習得し、そこで得たものを高校生らしい視点、感性で生かしながら自分たちでガイドメニューを作成し、本番では実際の修学旅行生や日本人観光客をお迎えしてガイドを行います。

高校生の学習の過程や、ガイド本番の様子は北海道クルーズ振興協議会のホームページでご紹介しておりますので、そちらをご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise21/news/20181031-2news.pdf>

9月に発生した胆振東部地震では、むかわ町、安平町を中心に大きな被害をもたらしました。幸いにも、洞爺湖をはじめとする北海道の観光地は大きな被害はありませんでしたが、洞爺湖エリアではツアーや宿泊のキャンセルが相次ぎ、大きな打撃を受けました。

でも、安心して下さい。洞爺湖は元気です。北海道は元気です。是非、洞爺湖へ北海道へ再び足を運んで下さい。そして、『元気』を肌で感じて下さい。そのときは遊覧船ガイドでお迎えいたします。

<問い合わせ先>

北海道運輸局室蘭運輸支局 川本

mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp

第11回「クルーズ・オブ・ザ・イヤー」実施中！

(一社)日本外航客船協会(JOPA)では、客船事業振興及び広報事業活動の一環として、第11回「クルーズ・オブ・ザ・イヤー」を実施しております。

「クルーズ・オブ・ザ・イヤー」は旅行業界の健全な発展に寄与したクルーズ旅行商品を対象とし、特にオリジナリティーに溢れ、かつ、わが国のクルーズ・マーケット拡大に貢献した商品を企画造成、実施した旅行会社等を顕彰することによりモチベーションの向上を期するとともに、一般消費者に対し良質のクルーズ旅行商品・サービスの提供を図ることを目的として、平成20年から毎年実施されております。

対象は(一社)日本外航客船協会加盟会社または(一社)日本旅行業協会加盟会社が企画造成し、平成30年1月～12月末までに催行実施した(予定含む)クルーズ商品となっておりますので、加盟各社の「これぞ自信の商品」というクルーズ商品を奮ってご応募下さい。

また、特別賞としてクルーズ旅行商品以外で、その年に特にクルーズ振興や客船誘致活動に顕著に寄与したと認められる、企業、自治体、団体、クルーズ振興に貢献した人物等への表彰もごさいます。こちらのカテゴリーでもぜひご応募下さい。

・応募締切日：平成30年11月1日(木)(必着)

・実施要領、応募要領、過去の受賞履歴等は、

(一社)日本外航客船協会HP参照下さい。

http://www.jopa.or.jp/of_theyear/of_theyear2018.html

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 宮崎

mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp

5. 情報：「クルーズなんでも屋」vol.43！

～クルーズ用語について復習しましょう～

早速ですが、質問です。

Qクルーズ用語に関する次の記述のうち、正しいものをすべて選びなさい。

- a. デッキプラン (Deck Plan) とは、各階層ごとに船室やレストラン、シアターなどの配置が表示されている船内の平面見取り図のことをいう。
- b. クルーズディレクター (Cruise Director) とは、船内イベントやエンターテインメントなどクルーズ中のレクリエーションの企画、演出、運営の責任者のことをいう。
- c. ライフボートドリル (Life Boat Drill) とは、旅客が24時間以上船内にいることが予定される航海を行う船舶に、出港前または出港後直ちに実施することが義務付けられている非常時の緊急避難訓練のことをいう。

これは、先日、10月14日実施された、「総合旅行業務取扱管理者試験」の中の質問の一つです。
皆さんお分かりになりましたでしょうか？ a、b、cの全てが正解です。

- ・ aの「デッキプラン」については、船社さんのパンフレットにも掲載されており、目にされている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。
- ・ bの「クルーズディレクター」については、そのもとには、ステージマネージャー、エンターテインメントマネージャー、スポーツインストラクターが付いていて、退屈しないクルーズライフを支えていますね。
- ・ また、cの「ライフボートドリル」についても、これからクルーズ船の旅をお考えの方は、乗船の際にこの緊急避難訓練があることをお忘れなく。

今回は、クルーズ用語を「何でも屋」風に紹介しました。

今回の「総合旅行業務取扱管理者試験」については、一般社団法人日本旅行業協会HPにある平成30年度試験問題から引用しています。
<http://www.jata-net.or.jp/>

また、「総合旅行業務取扱業務管理者」については、観光庁のホームページをご覧ください。
<http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/sangyou/ryokogyoho.html>

クルーズなんでも屋は、クルーズに関する「よもやま話」を取り扱うお店です。
疑問に思ったこと、困ったこと等、何でもお聞かせ下さい。
皆様から数多くの投稿をお待ちしております。

「クルーズなんでも屋」へのご投稿は、こちらまで
<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

6. 事務局からのお知らせ

1

クルーズ寄港情報や過去のメールマガジンについては、北海道クルーズ振興協議会のホームページをご覧ください。
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise1.html>

2

購読新規登録はこちらから
http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_1.html

3

登録変更・解除はこちらから
http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_2.html

北海道クルーズ振興協議会 事務局
国土交通省 北海道運輸局 海事振興部
旅客・船舶産業課 武部 千穂
TEL:011-290-1011 FAX:011-290-1021
mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp